



VOL.17 普通のプリウスとプリウスPHVの違い

ハイブリッドカーのパイオニアであり代名詞的存在になっているのが、トヨタ「プリウス」。モーターとエンジンのハイブリッド化によって、驚異的な燃費を実現しています。

2017年2月にプリウスPHV(プラグインハイブリッド)が発売され、現在に至りますが、普通のプリウスとPHVとの違いはいったいどんなところがあるのでしょうか? 実は普通のハイブリッドカーであるプリウスと、プリウスPHVとは全く別のクルマといっているほどの違いがあります。



このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?

1 電気自動車化しつつあるプリウスPHV

普通のプリウスは、エンジンを回すことによって充電をしたり、ブレーキングの際にエネルギーを回収したりして充電をしています。一方プリウスPHVの場合は、電気自動車のように外部電源を使って充電することが可能になっています。しかしプリウスPHVは、ただ単に外部電源から充電できるハイブリッドカーというだけではありません。

プリウスPHVは、ガソリンエンジンを搭載してはいますが、半分電気自動車といってもいいほどEV化しています。ガソリンをまったく使わないEV走行でも、JC08モードで約68.2kmも走行できてしまうのです。つまり、近所の買い物や通勤などであれば、毎日自宅のコンセントで充電をすることで、ほとんどガソリンを使うことなく電気自動車として利用することもできてしまうわけです。ガソリンを使うのは、遠出をする時だけといったような使い方ができるわけです。

2 電気自動車とガソリン車のいいとこ取り!

プリウスPHVがガソリンを使うといっても、プリウスは元々ハイブリッドカーなので燃費は非常によくJC08モードで約37.2km/Lを実現しています。また、普通の電気自動車の場合、出かけた先でバッテリーが空になってしまうと、走行不可となってしまいますが、プリウスPHVにはエンジンが搭載されているので、そういった心配はまったく必要ありません。まさに、電気自動車とガソリン車のいいとこ取りをしてしまったクルマが、プリウスPHVということがいえます。「電気自動車の静かでトルクフルな走りには魅力を感じるけど長距離走行が不安で購入に踏み切れない」などと感じている人にとっては、プリウスPHVは魅力的なクルマということがいえます。

3 普通のプリウスとは走りも全く異なるプリウスPHV

普通のプリウスは、モーターのみで走行する場面というのは限られています。お店の駐車場などをゆっくりと走行する時や、信号待ちから発信する時のほんの一瞬だけモーターのみの走行になります。しかし、プリウスPHVの場合は、かなりの勢いでスタートしてもそのままモーターのみで走行することができます。つまり、感覚的にはほとんど電気自動車のスタート時と同じと考えていいと思います。

なぜそのようなことが可能かという、プリウスPHVには「デュアルモータードライブ」というシステムが採用されているからです。このシステムは、加速時に電気を発電するためのジェネレーターをモーターとして活用するというもので、モーター2個分のパワーを得ることができ、そのためスタート時にはまさに電気自動車のような静かでトルクフルな加速感を味わうことができます。なのでプリウスPHVをただの外部電源から充電可能なハイブリッド車だと思っていると、発進直後にすぐにエンジンが始動してしまう普通のプリウスとの走りの違いに驚かされるに違いありません。ちなみにプリウスPHVはモーターの力だけで135km/hまでのスピードを出すことができるそうです。制限速度が100km/hである日本の高速道路では、余裕でモーターだけで走行することが可能です。

4 災害時にも頼もしいプリウスPHVの給電能力

プリウスPHVは外部電源から充電をすることができるだけでなく、外部に電源を供給することも可能になっています。燃料タンクを満タンにしておけば、1500Wの電力を2日間にわたってずっと供給し続けることができます。つまり、よほど電気の無駄遣いをしない限りは、1週間程度は問題なく過ごすことができます。



! このように魅力がいっぱいのプリウスPHV! ですが、唯一の欠点は普通のプリウスに比べて100万円ほど車両価格が高いという点です。